

低圧電気 取扱特別教育

脱・感電災害!!
初動操作は
基本を忠実に

安全は企業の宝。
資格は一生の財産。
ライセンスで
「差」をつけよう!!

ご存知ですか? 以外に多い低圧電気の感電災害。一見、容易と思われる下記の作業も「低圧電気取扱特別教育」を修了していないと業務に就くことができません。

対象電圧は直流で750V以下、交流で600V以下

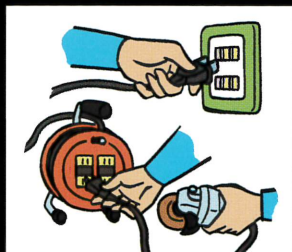
建設業・砕石業・製造業・自動車整備業etc...

電気機器を扱う様々な業種で必要となる教育です!

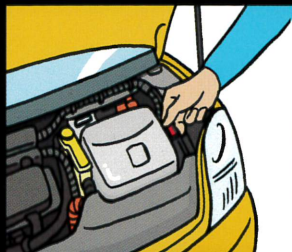


《カリキュラム》

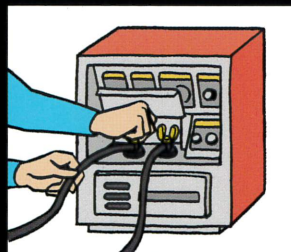
- 開閉器の操作業務のみを行う者は……8時間必要です(学科7h+実技1h)
- 低圧の活線作業(近接作業含む)を行う者は…14時間必要です(学科7h+実技7h)



コードリールや掃除機などのコードをコンセントに差し込む。コードリールのコンセントに電動工具プラグを差し込む。コンセント近くの掃除。



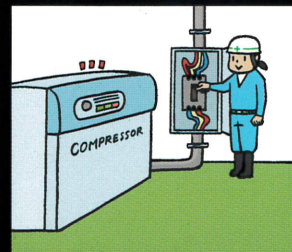
電気自動車・ハイブリッド車の車検整備等で50V以上箇所への接近作業、また同車を移動するための配線の取り外し。



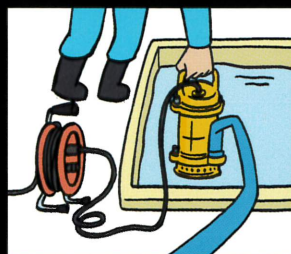
キャブタイヤケーブルをポータブル発電機に接続・開放。溶接機とコードを接続。



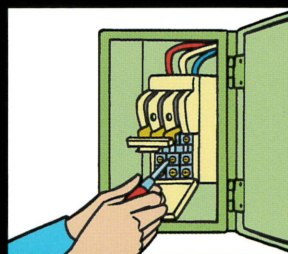
投光器の電球や、蛍光灯・LED電球等の交換。



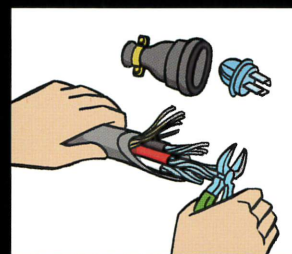
作業場内の電気式エアコンプレッサのスイッチの開閉。



水中ポンプを設置・撤去



ナイススイッチのヒューズ交換



配線コード、キャブタイヤケーブルの損傷を修理。

経済産業省の資格である電気工事士や電気主任技術者を取得している方でも、低圧電気取扱業務を行う場合には、事故防止の観点から厚生労働省管轄の本教育の修了が必要となります。

